

平成29年度 教育部の運営方針

部名	教育部
部長名	尾野 晋一

(作成日) 平成 29 年 7 月 3 日

【部の基本方針(政策目標)】

義務教育を取り巻く環境は急速に変化しています。平成27年4月には「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、地方教育行政の責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化などが求められました。これを受け、平成27年度から総合教育会議が定期的開催され、平成26年3月策定の「柏原市教育振興基本計画」の後期計画(平成29年度から平成31年度まで)である改訂版を今般策定し、この5月開催の第1回総合教育会議において市長が定める教育に関する「大綱」に位置付けられました。また、教科指導においては、道徳が特別な教科として小学校(平成30年度から)、中学校(平成31年度から)で開始されるとともに、小学校中学年(3,4年生)では「外国語活動」、高学年(5,6年生)では「外国語科」が平成32年度から導入されます。

このように教育改革の時代ですが、本市の教育理念『「かしわらっ子」はぐくみ憲章』(平成20年策定)にある「15の春にひとすじの意志をもったひたむきな姿勢をつらぬく若者の育成」を期して、「柏原市教育振興基本計画」に定めた4つ基本方針に基づく教育行政を市民と協力しながら推進していきます。

【重点課題】

1	幼小中一貫教育を推進します。
2	知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます。
3	社会全体で健やかな子どもを育みます。
4	安全・安心で、質の高い教育環境をつくります。

【重点課題1】

幼小中一貫教育を推進します。

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

- ①各中学校区で、幼小中11年間を見通した教育活動の充実を目指します。
- ②本市一貫教育の発展した形となる施設一体型一貫校や、義務教育学校、コミュニティスクールの設置を目指します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- ①各中学校区で教員間連携、子どもの交流・連携、家庭・地域・学校の連携・協働を充実させます。
- ②施設一体型一貫校、コミュニティスクール、義務教育学校について研究・調査し、設置に向け推進します。

イ 達成目標

- ①各学校園長の成果報告や、各学校園の子ども、保護者、教員対象の学校評価、市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めます。
- ②年次計画を定めるとともに、保護者、地域へ周知を図り、一定の理解を得ます。

【重点課題2】

知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます。

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

- 家庭、地域、学校が連携・協働して、以下に取り組めます。
- ①「確かな学力」: 個に応じた指導を通して、「全国学力・学習状況調査」や府の「チャレンジテスト」、市独自の「かしわらっ子はぐくみテスト」などで、継続的に府や全国の平均以上の結果を目指します。
 - ②「豊かな心」: 人権教育や道徳教育、キャリア教育の充実を通して、いじめ、不登校等の問題行動の減少を目指すとともに、夢や志をはぐくむ教育活動の充実を目指します。
 - ③「健やかな体」: 学校保健体育、学校給食の充実により、将来にわたり、体や健康に留意し自己管理できる力の育成を目指します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- ①市独自で児童の学力とその個性や心の有り様も調査する「かしわらっ子はぐくみテスト」を継続実施し、効果的な活用により、学力向上と個性の伸長等につなげるよう学校を指導します。なお、平成32年度より始まる小学校英語科については、スムーズに開始できるよう丁寧な準備を進めます。
- ②平成30年度から始まる「特別の教科 道徳」が円滑にスタートできるよう、丁寧な準備を行います。また、いじめ問題については、命に関わることもあるため、未然防止、早期発見、早期対応等、学校園の取組みを支援していくとともに、様々な機会を利用して啓発を図ります。
- ③各校で学校保健委員会が円滑に開催できるよう連絡・調整します。安心・安全な学校給食の実施を通して、食育の充実を図ります。

イ 達成目標

- ①・各学校園長の成果報告や、各学校園の子ども、保護者、教員対象の学校評価、市民意識調査での「教育指導」満足度を前回数値より高めます。
・全国学力・学習状況調査やチャレンジテストの各教科・区分における本市の平均正答率が、大阪府の平均正答率を上回ります。

【重点課題3】

社会全体で健やかな子どもを育みます。

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

- ①子どもの成長には、学校だけでなく、家庭や地域社会との関わりが大きく影響を及ぼします。そのために青少年の健全育成に取り組みます。
- ②スポーツによる健康増進を図るため、身近な地域で気軽にスポーツに親しめる機会と施設の充実に努めます。
- ③子どもから高齢者まで、多様な学習環境を整えるため生涯学習の充実に取り組みます。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|---|
| ① | 青少年健全育成活動として、通学時の見守り活動や放課後子ども教室(のびのびルーム)の開催、更には通学合宿をボランティアの協力を得て実施します。 |
| ② | 生涯スポーツの場として、「スポーツフェスティバルin柏原」や「柏原シティキャンパスマラソン」等を開催し、更にはサンヒルの庭球場と屋外プールの指定管理者による管理や恩智川遊水地内での新たな市民スポーツ広場(グラウンド)の整備を進めます。 |
| ③ | 公民館、図書館、歴史資料館、更には自然体験学習施設等を活用して、様々な催しや講座等を開催することで前年以上の利用を促進します。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|---|
| ① | ・市民意識調査の「青少年の健全育成」や「スポーツ振興」、「生涯学習」の満足度を前回数値より高めます。
・社会体育施設や生涯学習施設の利用状況等について、前年度数値を上回ります。 |
|---|---|

【重点課題4】

安全・安心で、質の高い教育環境をつくります。

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

- ①安全・安心な学校施設の環境整備に向けては、中学校校舎の耐震化の完了や小中学校の普通教室への空調設備の設置、トイレの洋式化を含むトイレ改修などを進めます。
- ②小・中学校の適正規模・適正配置基本方針に基づき、保護者や地域住民の理解と協力を得ながら小・中学校の再編を進めます。
- ③教育の機会均等とその確保に向け、支援を必要な児童・生徒へは人的及び経済的な援助を行います。

ア 活動目標

- | | |
|---|---|
| ① | 柏原中学校の校舎耐震化工事及び堅下北中学校の普通教室への空調設備の設置を完了し、他の5中学校の空調設置に係る設計業務を行います。 |
| ② | 小・中学校の適正規模・適正配置につきましては、国分中学校区の小規模化しています国分東小学校の保護者や校区住民への現状説明や意見交換等を開始します。 |
| ③ | 支援を必要とする児童・生徒には必要な教員や介助員等を配置し、経済的な支援として就学援助や支援教育就学奨励費を適正に支給します。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|-------------------------------|
| ① | 市民意識調査の「教育環境」の満足度を前回数値より高めます。 |
|---|-------------------------------|